

自 己 評 価 票

【自己評価の意義・目的】

- 自己評価は、事業者自らが主体的にサービスの評価を行い、サービスの提供状況を見直すことによりサービスの質の向上を図るシステムの一つです。
- サービスの質の向上は、この自己評価をはじめ、事業者の取り組みを第三者の目で確認して評価を行う外部評価や、アンケート調査等による利用者からの声の反映、等が相まって実施されることにより、達成されるものです。
- この自己評価の結果を公表することにより、利用者にとっては、客観的な指標、判断材料として事業者の選択に役立つものとなります。

【自己評価の実施方法】

- 運営者（法人代表者等）の責任の下に、管理者が従業者と協議しながら実施してください。
- 「評価項目」ごとに評価をしてください
- その判断した理由や、根拠のポイントを記入してください。
- 少なくとも年に1回は、自己評価を実施してください。
- 優れている点や、改善すべき点等の特記事項についても、別途（任意様式）を作成してください。
- 改善すべき事項については、改善のための計画（任意様式）を作成してください。
- 利用者やその家族等が今後、サービスを受けようとする時の情報として、この評価結果を利用できるように利用申込書、又は、その家族に交付する重要事項証明書に添付の上、説明するとともに、事業所内の見やすい場所に掲示するなどして評価結果を積極的に公表してください。
- 評価結果及び記録等は、評価を完了した日から3年間は保存してください。

地域密着型サービスの自己評価項目の構成

	項目数
I 理念に基づく運営	22
1 理念の共有	3
2 地域との支えあい	3
3 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4 理念を実践するための体制	7
5 人材の育成と支援	4
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援	6
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1 一人ひとりの把握	3
2 本人が、より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4 本人が、より良く暮らし続けるための、地域資源との協働	10
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1 その人らしい暮らしの支援	30
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入年月日	平成 21 年 9 月 10 日
法人名	有限会社 杉山手
代表者名	代表取締役 小林民子
事業所番号	2 7 7 2 4 0 2 5 5 4
サービスの種類	指定認知症対応型共同生活介護
事業所の名称	グループホーム杉山手
記入者名	小林貴弘
所在地	大阪府枚方市杉山手3丁目27番12号
電話番号	0 7 2 - 8 5 9 - 4 3 3 8
FAX番号	0 7 2 - 8 5 9 - 4 3 3 8

自己評価票

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営				
1 理念と共有				
1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念： 自然に囲まれた環境の中、地域で心豊かにその人らしく、安心と希望をもてるグループホームを目指します		
2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム玄関入り口と、リビングに理念を掲示。それを確認して頂き、職務に就いて頂いています		
3	○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議を通し、また来所の際、お話をする機会を大切に、色々な相談をし合い、協力してよい介護ができるよう、ご家族共に取り組んでいます		
2 地域との支えあい				
4	○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な、つきあいができるように努めている	近隣の方々には、お声をかけて頂くなど、また獲れた作物等のおすそわけをし合うなどしています。他にも、ピアノ演奏などをして頂くなどの交流をしております		
5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会が地域に無く、参加できる機会はありませんが、管理者が自治会に入っている為、交流は行っております。散歩中も色々な方々と、ご挨拶できる関係になっています		
6	○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域で認知症についてお話ができるよう、職員は、国家資格である精神保健福祉士の資格を取得しました。また、地域で認知症についての勉強会を行う為、自治会にアプローチを続けています		
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の内容を職員一同で検討し、改善する部分について聴取を行いました		
8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	約二ヶ月に一度実施している運営推進会議では、その二ヶ月の間について報告させて頂き、サービスを提供するなかで、利用者・職員・ご家族の悩み等の相談にのって頂き、そこで話し合った事を実際サービスに繋げております	○	今年は、利用者家族さまの参加が難しい回が多く、目下、参加し易い日程を試行錯誤しています
9	○ 市町村との連携 事業所は市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいる	地域での勉強会の開催に向け、地域の方々に色々相談に乗って頂いています。市職員の方々とも、何かあればすぐ相談できる関係を大切にしています		
10	○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人には、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等に詳しい精神保健福祉士を配置しております。また、今年と同職員がリスクマネジメントの資格取得をしました		

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	<p>○ 虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4 理念を実践するための体制			
12	<p>○ 契約に関する説明と、納得</p> <p>契約を結んだり、解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い、理解・納得を得ている</p>	○	説明の為に書類が多くなっていますので、整理し、書類の簡素化を行っていきます。
13	<p>○ 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○ 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的、及び、個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○ 運営に関する家族等、意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>		
16	<p>○ 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○ 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや、勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5 人材の育成と支援			
19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	○ 職員のストレス軽減に向けた 取り組み	職員からの質問・相談にいつでも乗れる環境にしています。また、一人で休める部屋を準備し休憩の時間をリラックスできるよう取り組んでいます。定期的に職員のみで、外食での食事会を行っています		
	運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や、環境づくりに取り組んでいる			
22	○ 向上心を持って働き続けるための 取り組み	共に働いている為、連携を大切にし、常に話しをしております。お互いの視点や長所を大切に、また補い合い協力して、全員で同じ目的をもってサービス提供を行っています		
	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている			

II 安心と信頼に向けた関係づくりと、支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

23	○ 初期に築く本人との信頼関係	入所前には面談を行い、ご家族さまを含め、色々な相談をお受けしています。入所後も何か相談がある時は、別室にてお話をお聞きし、改善に向けて取り組んでおります		
	相談から利用に至るまでに、本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を、本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。			
24	○ 初期に築く家族との信頼関係	当施設に入って終わりではなく、ご家族さまとは継続して一緒に入居されたご家族さまが安心して生活できるよう取り組んでいただいています。その為、一緒に悩み、相談し合っています		
	相談から利用に至るまでに、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等を、よく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。			
25	○ 初期対応の見極めと、支援	職員間でも相談し、アイデアを出し合い、問題解決に取り組んでいます。他にも地域包括支援センター、行政、他事業所等に相談し、問題解決できるよう取り組んでいます		
	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
26	○ 馴染みながらのサービス利用	当施設に馴染んで頂く事を当分の目標と入居前に来居して頂き、面談にもお伺いし、面識を深める努力をしています。入居後もご家族さま、職員と連携しながら、よりよいサービスが提供できるよう取り組んでいます		共用型デイサービスも行っており、グループホームに入居する前に、デイサービスに通って頂き、慣れて頂く事で、より環境の変化による認知症の進行を緩和できるものと取り組んでいます
	本人が安心して、納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら、工夫している			

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

27	○ 本人と共に過ごし、支えあう 関係	家族のように真剣な話し合いをする日もありますが、職員・利用者の枠を超え、全員でよりよい生活ができるよう取り組んでいます。また、お互いの関係の枠を超え、お互いを支えあっています		
	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている			
28	○ 本人を共に支えあう家族との 関係	職員だから出来る事、ご家族しか出来ない事・関係性があり、お互いに理解し合えるよう取り組んでいます。ご家族様・職員・ご本人全員で安心できる生活を目指していける事を目標にしています		
	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている			
29	○ 本人と家族の、よりよい関係 に向けた支援	ご家族さま・利用者さまにとって一番よい距離感・関係性が保てるよう、迅速な報告・連絡を心がけています		
	これまでの本人と、家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している			
30	○ 馴染みの人や場との、関係継続の 支援	年賀状を出したり、ご兄弟に会いに行くなどしていますが、だんだんと高齢者が増え、なかなか難しい状況です		
	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないう、支援に努めている			

(..... 部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている		
32	○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		
34	○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている		
35	○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている		

2 本人が、より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し

36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している		
37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している		
38	○ 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている		
----	--	--	--

4 本人がよりよく暮らし続けるための地域資源との協働

40	○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化、教育機関等と、協力しながら支援している		
----	--	--	--

(部分は外部評価との共通項目)

取り組んでいきたい項目

項	目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	○ 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	医療関係の方面で、色々なサービスを利用させて頂いています		
42	○ 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	施設内での囲い込みになる事が無いよう、地域包括支援センターや、民生委員の方々に色々な方面で相談報告等を行い、連携をしています		
43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの往診の先生を中心とし、個人的に必要な医療に関して、その方に合ったその分野を得意とする医療機関を選び、適切な医療が受けられるよう、取り組んでいます		
44	○ 認知症の専門医等の受診支援 専門医等、認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や、治療を受けられるよう支援している	往診の医師が認知症に詳しい方で、また精神科の医師とも連携をしています。他にも当施設には、認知症にも知識のある精神障害の専門職である精神保健福祉士も在籍しております		
45	○ 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員、あるいは地域の看護職と、気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	往診の医師が月2~3回来て下さり、その医師と連携している訪問看護の事業所とも連携しています。また、当施設の准看護師もそれらと連携しています		
46	○ 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	近隣の総合病院にて、緊急時も受け入れさせて頂ける関係になっています。実際に救急車で運ばれた際も、問題なく受け入れさせて頂け、その際も連携を密にする事で、早期退院、当施設への受け入れ準備もスムーズにいたしました		
47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から、本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と、繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する当施設の指針について、ご家族さまにも契約の際にお伝えしております。看取りに関して、医師、職員一同、どのように対応するか等指針について共有しています。特に、連携を強化して取り組んでおります		
48	○ 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が、日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともに、チームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて、検討や準備を行っている	上記にも記入しましたが、契約の時点から看取りに関して当施設で出来ること、出来ないことの話合いを行い、ご家族さまにも心の準備・協力をお願いしています。状況に合わせ施設内の連携だけでなく、ご家族・医療関係者との連携もより強くしています		
49	○ 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で、十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	利用者の方が転居する際、スムーズに行くよう転居前からご家族さまには、転居によってどのような事が起こる可能性があるのか、どうすれば住み替えによるダメージを軽減できるのか、話し合う機会を設けて頂いています。転居先に対しても、情報提供が適切にできるよう取り組んでいます		

(部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
-----	---------------------------------	--------	----------------------------------

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

50	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りや、プライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	万一、ご本人が読まれても問題のない内容にしています。保管場所も利用者が来られない場所に保管し、利用者同士でもあまり知られたくない事については伝わらないように努めています		
51	○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 本人が、思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり、納得しながら暮らせるように支援している	最終的な決定権を利用者さまに持って頂くようにしております。ただ、利用者さまの健康を守る意味で、心身に危険がないように、いくつかの選択肢を準備させていただいています		
52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや、都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度は、施設のタイムスケジュールに沿って生活して頂いていますが、それ以外はご自由にして頂いています。また、行事等に対しても参加・不参加を自己決定して頂いています		

(2) その人らしい暮らしを続けるための、基本的な生活の支援

53	○ 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみや、おしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	頭髪はご本人と訪問で来て頂いています美容師の方と決めて頂いています。身だしなみについては、不潔行為や、一般常識で問題ない着衣（半裸・全裸等以外）であればお任せしています		
54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食時が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	時には食事のメニューを入所者の方に聞いてみて、その日の夕食を決めるなど、利用者の方々の希望も取り入れたメニューにしています。食事の準備後片付けも、できる方には手伝って頂いています		
55	○ 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを、一人ひとりの状況に合わせて、日常的に楽しめるよう支援している	医師の指示のもと、施設のルールを守って、できる限りの範囲で楽しんで頂いています。ただし、危険予防から時間や場所と制限は設けています		
56	○ 気持よい排泄の支援 排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人一人の力や排泄のパターン、習慣を活かして、気持ちよく排泄できるように支援している	限度はありますが、できる限りの範囲で、おむつ等の使用を減らせられるように努めています。排泄パターンも守られるよう、整腸剤もその方に合うよう調整しています		
57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を、職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	限度はありますが、できる限り対応しています		
58	○ 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり、眠れるよう支援している	必要な睡眠時間が確保できない方が居られる場合、医師の指示のもと、睡眠薬を適度に服薬して頂く事もあります。また、運動量を増やすなど、気温等睡眠しやすい環境を整える等、日々調整しています		

(3) その人らしい暮らしを続けるための、社会的な生活の支援

59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや、喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご家族、ご本人から、趣味や好きな事をお聞きし、また、新たに開発できるようアプローチをしています。また、ご利用者さまの好きなテレビ番組をDVDに録画し、他にも色々なビデオを取り揃えています		
----	--	---	--	--

(部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○ お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	残念ながら、お金を常日頃から所持する事で起る不安やトラブルは多々あり、逆に、所持する事で安心される事もあり、その方に合った対応をするしかないと考えています		
61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりの、その日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	喫茶店に行く事や、買い物、外食、散歩等、希望がかなえられるよう、出来る限り行っています。また、ご本人に提案もさせて頂き支援させて頂いています		
62	○ 普段、行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい、普段は行けないところに、個別あるいは、他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族さまには利用者の方とお出かけして頂けるよう、こちらからも願っています。リハビリの目標になる事も多々あります		
63	○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように、支援している	ご本人が望めば、電話お手紙ご自由にして頂いています。ただ、ご家族様との関係が悪化しないよう、程度等は気をつけて頂いています		
64	○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	利用者さま方の睡眠等を阻害する訪問時間・機会でなければ、いつでも来ていただいています。それぞれ個室がありますので、そちらでご家族さまのみでゆっくり過ごして頂いています		

(4) 安心と安全を支える支援

65	○ 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての指針を作成しております。原則として身体拘束を行わない事は職員内で統一しています。ただし、自傷他害を行う場合は、やむなく行う事もあります。ただ当然ながら拘束の必要がないよう取り組んでおります		
66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在、徘徊が激しい方が居られるので、どうしても危険防止の為、玄関に鍵をかけております。それでも、できる限り玄関ドアを開放しておくなど努力しております	○	玄関に鍵をかけなくてすむような方法がないかと、試行錯誤しております。
67	○ 利用者の安全確認 職員は、本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜、通して利用者の存在や、様子を把握し、安全に配慮している	排泄・入浴など安全に配慮しながら、できる限りプライバシーが守られるよう取り組んでおります。職員が側にいなくても、トイレ入り口にセンサーを設置し、利用者さまの動きを把握しております		
68	○ 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を、一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	専門職の方々の指導のもと、職員一同、取り組んでおります		
69	○ 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	病院勤務経験者や看護職員を中心に、知識の共有を行っています		
70	○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や、初期対応の訓練を定期的に行っている	順次、消防署が行っています、緊急時の対処ができるよう勉強会に参加し、看護職員を中心にミーティングで、その時々勉強を行っています		

(部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		
72	○ リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている		

(5) その人らしい暮らしを続けるための、健康面の支援

73	○ 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や、異変の発見に努め、気付いた際には、速やかに情報を共有し、対応に結び付けている		
74	○ 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や、副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている		
75	○ 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や、身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		
76	○ 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや、臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、力に応じた支援をしている		
77	○ 栄養摂取や、水分確保の支援 食べる量や、栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
78	○ 感染症予防 感染症に対する予防や、対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ・疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)		
79	○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		

2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

80	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている		
----	---	--	--

(部分は外部評価との共通項目)

↑ 取り組んでいきたい項目

項	目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔であるよう心がけ、季節にあった花や品を置くなどしています。また、鶏を飼育しているので、その為か、多くの野鳥がやってき、利用者さまの目を楽しませてくれています		
82	○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	新たにサンルームを作り、ゆったりと外を見たい方が利用しておられます。限られたスペースを最大限に利用できるよう工夫する取り組みをしています		
83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人一人個室を持ち、入居の時には使い慣れた物品を持ち込んで頂いています。ご家族さまと利用者さまで家具の配置を決めて頂き、設置し、最後に危険が無いかを、職員が確認しています		
84	○ 換気・空調の配慮 気になるにおいや、空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じて、こまめにやっている	利用者の方々の動きに合わせて、空いた状態になる部屋から換気を行い、施設内で温度差があまりおきないように取り組んでいます。今年は、空気中のウイルスを除去する空気清浄機をリビングに設置しました		

(2) 本人の力の発揮と、安全を支える環境づくり

85	○ 身体機能を活かした、安全な環境づくり 建物内部は、一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように、工夫している	手すりを適度に増やす事や、居室等での転倒防止の為に、あえて支えになるような物品を増やすなど工夫しています		
86	○ わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりの、わかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	物品位置などを工夫し、認識しやすい環境を提供し、ご自分でできる限りの事をしていただけ、少しでも自信をもって生活して頂けるよう取り組んでいます		
87	○ 建物の外廻りや、空間の活用 建物の外廻りや、ベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に植物が多々あり、鶏が居り、和やかな環境です。その為、色々な草木・動物を愛でて楽しんで頂いています		

V サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	②	① ほぼすべての利用者の ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで、生き生きした表情や、姿が見られる	②	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	②	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で、不安なく過ごせている	①	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	②	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを、よく聴いており、信頼関係ができています。	①	① ほぼすべての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない
96	通いの場や、グループホームに馴染みの人や、地域の人々が訪ねて来ている	③	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが、広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①	① 大いに増えている ② 少しずつ増えている ③ あまり増えていない ④ 全くない
98	職員は、生き活きと働けている	①	① ほぼ全ての職員が ② 職員の2/3くらいが ③ 職員の1/3くらいが ④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	②	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等は、サービスにおおむね満足していると思う	②	① ほぼ全ての家族が ② 家族等の2/3くらいが ③ 家族等の1/3くらいが ④ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点や、アピールしたい点を記入して下さい)

本年も、昨年から継続している介護福祉士の取得ができやすいように金銭面・シフトの調整で支援しています。また、当施設は常勤職員が多く、職員の入れ替わりを、極力減らせるよう取り組んでおります